

## 第4学年道徳学習指導案

日時 平成17年10月28日(金)2校時  
対象 1組(男18名 女12名 計30名)  
指導者 佐々木 徳子

- 1 主題名 命の大切さ〔生命尊重3-(2)〕
- 2 資料名 命かがやけ (自作資料)
- 3 主題設定の理由

### (1) 価値について

第3学年及び第4学年の指導内容3-(2)は、「生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にすること」というものである。人間にとって最も大切なものは生命である。一度失った生命は、二度と取り返すことはできない。しかし、かけがえのない生命も、子どもたちは当然のように与えられたものとして受け止め、生きていることをごく当たり前のこととしてとらえている。また、日常生活の中では、アニメやゲームの世界等で簡単に子どもの口から「死」という言葉が出たり、今できることをいい加減にこなそうとする子どもがいたり、せっかくの大切な生命が軽視されている傾向がある。

そこで、子どもたちに今を精一杯生きることが素晴らしいことであり、生命を大切にすることであることに気付かせたいと考えた。

### (2) 児童について

学級の子どもたちは、「命」が大事であるということは理解している。しかし、生きていることを当たり前のこととして捉え、生命について深く考えることはあまりない。

事前の意識調査では、全員が生命を「たった一つの大切なもの」と回答した。また、生命を大切にするために気をつけていることとして、「交通安全に気をつける」「病気にかからないようにする」「動植物を大切にすること」等をあげ、自分の生き方に関するものはなかった。「自分が生きていることをどう思うか」について、「命がある」「自由に動ける」など、自分中心の考えだけで、周りの人の視点で考えている子どもはなかった。これらのことから、生きていることの意味を考え、精一杯生きていこうとする心情を育てていく必要があると考えた。

### (3) 資料について

資料「命かがやけ」は盛岡市に住む番田雄太君という交通事故により体が不自由になった少年が、書道との出会いによって生きていく力を得ていくという話である。主人公のとった行動や気持ちに焦点を当て、人命のかけがえのなさ、今を精一杯生きていくことの大切さについて感じ取らせたい。

今回、いかに子どもたちの心に響く形で「生命」について考えさせ、実際の行動に反映させることができるかという視点から資料を選ぼうとしたが、子どもの実態と指導者の思いに合致した資料があまりなかった。そんな時テレビで知った番田雄太君の生き方は、ねらいとするかけがえのない生命を大切にしようとする心情を感得できるものであった。そこで、自分なりに資料として文章化し、子どもたちに提示すると共に「生きていくことの大切さ」を考えていきたいと考えた。

### (4) 指導にあたって

今年度10才を迎えるということで、「<sup>てんさい</sup>十歳プロジェクト～十才をいわおう～」を計画し、これまでの自分を振り返り、またこれからの自分を考える活動を行っている。また道徳では、資料「お母さん泣かないで」を用い、生命を大切にしようとする心情を育てた。

本時の気付く段階では、事前のアンケートをもとに、その段階で生命を大切にしていることについて話し合わせる。

見つめる・つかむ段階では、体の自由がきかない主人公の苦しみに十分共感させながら、書道を続けていくことを目標に精一杯生きていこうという主人公の心情をとらえさせていきたい。

更に広げる・まとめる段階では、これまでの自分の体験とも関係づけさせながら「生きる」ということについて改めて考え直し、今の生命を大切にするためにも今できることをがんばっていこうという意欲を高めさせたい。

文章の資料だけでなく、ビデオなどの映像も提示しながら、子どもたちの心により響くような時間を展開していきたい。

#### 4 本時指導の位置付け

事前指導	本時の指導	事後指導
<p>主題名 命の重さ            価値 生命尊重3 - (2)            資料名 「お母さん泣かないで」            ねらい            生命の尊さを知り、生命ある物を大切にしようとする心情を育てる。</p>	<p>主題名 命の大切さ            価値 生命尊重3 - (2)            資料名 「命かがやけ」            ねらい            生きることの素晴らしさを感じ取り、今の生命を一生懸命生きていこうとする心情を育てる。</p>	<p>主題名 受け継がれる生命            価値 生命尊重3 - (2)            資料名 「バルバオの木」            ねらい            受け継がれる生命のたくましさ感動し、生命あるものを大切にする気持ちを育てる。</p>

#### 5 本時の指導

##### (1) ねらい

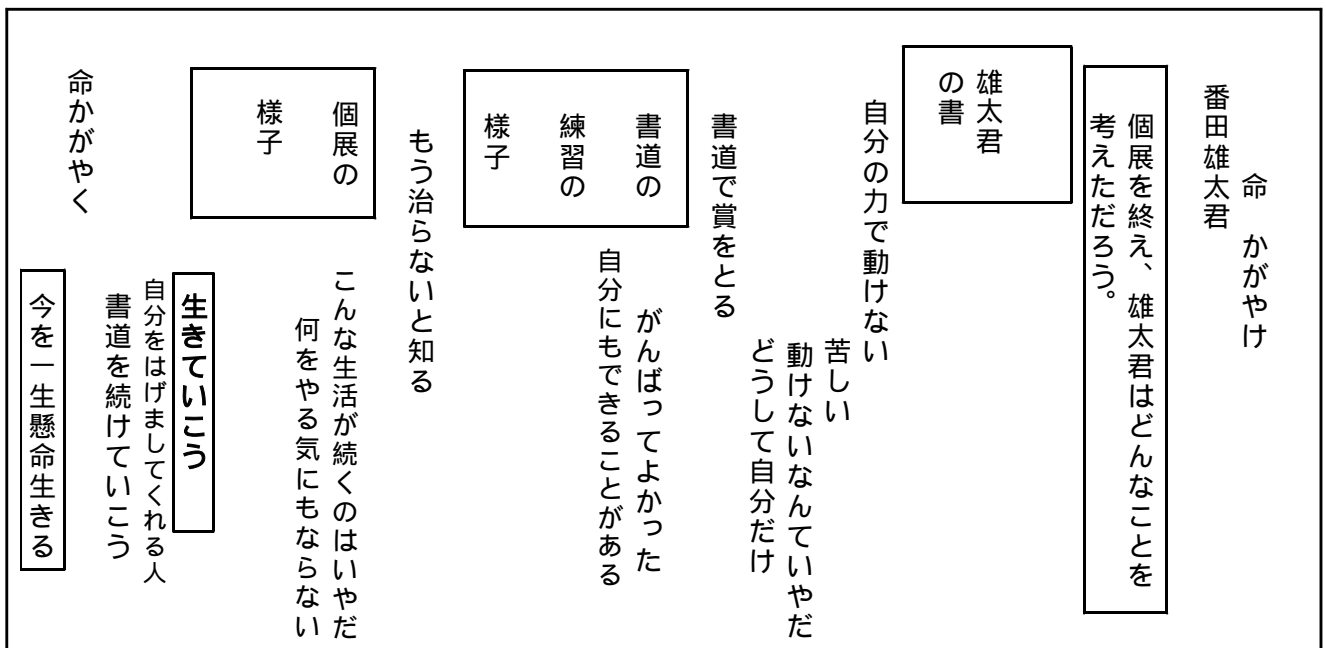
生きることの素晴らしさを感じ取り、今の生命を一生懸命生きていこうとする心情を育てる。

##### (2) 展開の概要

段階	学習活動と主な発問	予想される発言や心の動き	指導・援助の留意点
気づく	<p>1 生命を大切にすることについて話し合う。            あなたは命を大切にするためにどんなことをしていますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故にあわないよう気をつけている。</li> <li>・病気にならないよう何でも食べている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前のアンケートをもとに話し合わせ、本時価値への導入を図る。</li> <li>・始めに雄太君の書いた書の写真を提示し、興味をもたせる。</li> </ul>
10分	<p>2 資料を読み、話し合いの方向をつかむ。            番田雄太君についてどんなことを感じましたか。</p> <p>個展を終え、雄太君はどんなことを考えただろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体が不自由なのに、書道をしてすごい。</li> <li>・雄太君は一生懸命生きている。</li> <li>・雄太君の生き方について考えていきたい。</li> </ul>	<p>番田雄太君についての自作資料を配付し、読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雄太君の生き方について感想を話し合う中で、本時の課題を設定していく。</li> </ul>
見つける	<p>3 主人公の気持ちについて話し合う。            何年も自分の力で動けない雄太君は、どんな気持ちでしょう。</p> <p>書道を始め、賞を取った雄太君はどんな気持ちでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦しい。</li> <li>・動けないなんていやだ。</li> <li>・どうして自分だけこんな目にあわなくてはいけないんだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故で体の自由がきかなくなった雄太君の苦しみや、書道によって生きる希望をもち始めた雄太君の喜びについて十分に共感させていく。</li> </ul>
19分	<p>もう治らないかもしれないと知った雄太君はベッドの上でどんなことを考えたでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんな生活が続くなんていやだ。</li> <li>・もうどうにでもなってしまう。</li> <li>・何をやる気も起きない。</li> <li>・死にたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一生寝たきりのままでいなくてはならない雄太君の思いについて深く考えさせていく。</li> </ul>

つ か む  8 分	<p>4 雄太君の「生きる」意味について考える。 個展を終えた雄太君はどんなことを考えたでしょう。</p> <p>雄太君の命はどんなことで輝いているでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を励ましてくれる人がいる。</li> <li>・がんばって生きていこう。</li> <li>・書道を続けていこう。</li> <li>・書道をすることで精一杯生きている。</li> <li>・体が不自由でも目標をもって生きている。</li> <li>・雄太君は一生懸命生きているから命は輝いている。</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>個展の様子のビデオを流し、その中でさまざまな人たちの声などから、自分が生きていることは、周りのたちの喜びでもあるということ、書道で自分を表現することが「生きていく」ことであるということに気付かせたい。</p> </div>
広 げ る  5 分	<p>5 学習を通して考えたことを書いてまとめる。 命を大切にすることとはどういうことでしょうか。今日の学習から考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つしかない命を無駄にしないように生きていきたい。</li> <li>・自分が一生懸命できることをやっていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの自分の行動をふり返り、学習を通して考えたことも含めながらまとめさせる。</li> </ul>
ま と め る  3 分	<p>6 書いたことを発表しあい、これからの自分の生き方について考える。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの自分の体験を交えながら率直に話し合うことができるようにする。また、どのような考えでも共感的に受け止められるようにする。</li> </ul>

## 6 板書計画



7 資料分析

資料名 命かがやけ (自作)

ねらい 生きることの素晴らしさを感じ取り、生命を大切にしながら力強く生きていこうとする心情を育てる。

場面	<p>事故にあい、寝たままの雄太君</p>	<p>書道と出会い、賞をとる雄太君</p>	<p>もう治らないかもしれないということを知る雄太君</p>	<p>友の励ましを受け、目標を持ち生きていく雄太君</p>
外的状況と主人公の心の動き	<p>事故にあい、何年も寝たままとなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦しい</li> <li>・動けないなんて不自由だ。</li> <li>・どうして自分だけこんな目にあわなきゃならないんだ。</li> </ul> <p>苦しみ 絶望 つらさ</p>	<p>高井先生と出会い、書道を始め、賞をとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・難しいな、でも自分にもできることがあるんだ。</li> <li>・ぼくの作品が入賞するなんてうれしい。</li> <li>・生きていてよかった。</li> </ul> <p>希望 喜び 楽しさ</p>	<p>もう動くことができないことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかく生きていく目標を見つけたのに。</li> <li>・こんな生活がずっと続くなんていやだ。</li> <li>・もう、どうにでもなってしまう。</li> </ul> <p>絶望 悲しみ 苦しみ</p>	<p>たくさんの人から励ましを受ける。</p> <p><b>生命尊重</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分をこんなに励ましてくれる人がいるなんて。</li> <li>・がんばって生きていこう。</li> </ul> <p>夢 希望</p>
児童の意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ4才なのにかわいそう。</li> <li>・動けないと何もできないんだ。つらいだろうな。</li> <li>・大変なんだろうな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口で筆をくわえるなんてむずかしそう。</li> <li>・自分もふつうに手で書くのもむずかしいのに、すごいな。</li> <li>・寝たままなのに、入賞するような作品を書くなんてえらいなあ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書道という道を見つけたのに、悲しいだろうな。</li> <li>・大人になっても寝たままなんて、つらい気持ちだろうな。</li> <li>・生きているのがいやになるだろうな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達やお客さんのおかげで、また目標をもてたんだ。よかった。</li> <li>・治らないかもしれないのに、一生懸命生きている雄太君はすごいなあ。</li> </ul>
発問	<p>何年間も自分の力で動けない雄太君はどんな気持ちだったでしょう。</p>	<p>書道を始め、賞を取った雄太君はどんな気持ちだったでしょう。</p>	<p>もう治らないかもしれないと知った雄太君は、ベッドの上でどんなことを考えたでしょう。</p>	<p>個展を終えた雄太君は、どんなことを考えたでしょう。</p>

本資料は、授業のねらいに合わせて、実在する人物の実際の心情とは異なる部分があります。